

神奈川県自然公園だより

(財)神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 <http://www.kanagawa-park.or.jp/>)

山岳スポーツセンター 【秦野市戸川1392 TEL0463-87-9025】



秋も深まり11月4日に、生涯スポーツの普及の一環としての健康登山「第23回かながわ県民ハイク」が、神奈川県山岳連盟主催、(財)神奈川県公園協会他の後援で、今年も山岳スポーツセンターを会場に開催されました。お花と植物の学習(徒歩約4時間、約6Km)コースに42名、三ノ塔往復(徒歩約6時間、約8Km)コースに50名の参加がありました。役員、植物の学習・観察指導に秦野ネイチャーウォッチングクラブ、救援体制に、日本赤十字神奈川県支部・山岳赤十字奉仕団、ハイクのサポートに県山岳連盟等74名、合計166名で実施されました。当日は、天候にも恵まれ5歳の少年から70歳を超えるベテランまで幅広い参加者が和やかに1日を過ごし丹沢の自然を満喫していました。(小清水)

西丹沢自然教室 【山北町中川867-2-9 TEL0465-78-3940】

『2007年西丹沢』勝手に「10大ニュース」

今年も丹沢全体や西丹沢では、いろんな出来事がありました。来館者などにアンケートの協力をお願いして決めた「2007年西丹沢」勝手に「10大ニュース」は次のとおりでした。

- 第1位 台風が西丹沢を直撃し、神ノ川ヒュッテが休業になる程の大雨が降った。(9月)
- 第2位 玄倉川林道の青崩トンネルが危険で通行できなくなった。(1月)
- 第3位 プナハバチが数年ぶりに大発生し、プナの葉が多く食べられた。(6月)
- 第4位 かながわパークレンジャーが新規に始まり、3人が採用されて活躍した。(9月)
- 第5位 権現山の登山道が林業用作業道となり一般登山者の利用を制限した。(8月)
- 第6位 蛭ヶ岳山荘は利用者が少ないため、冬季休業を検討している。(12月)
- 第7位 丹沢エコツーリズム推進事業で試行のエコツアーが行われた。(9月)
- 第8位 秋に木の葉が多く実り、紅葉もきれいになった。(10月)
- 第9位 菰釣山避難小屋が改修されて、新しくなった。(1月)
- 第10位 ゴヨウツツジ(別名:シロヤシオ)が西丹沢ではあまり咲かなかった。(5月)

さて、来年はどんな一年になるでしょうか。(倉持)

秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 TEL0463-87-9300】

こんなバードウォッチングはいかがですか。

●この鳥は何をしているのだろう？

(ジョウビタキ♂:頭はシルバーグレー、お腹は朱色、羽は真っ黒に白い紋) 器用に片足を上げて頭を掻いています。頭がかゆいのか、それとも「困ったなあ」と思っているのか…。しかも、新体操をしているみたいに柔らかく片足立ちで、ものすごいバランス感覚です。



●この鳥は、何をしているのだろう？

(ホオジロ♂:顔は黒に眉と頬に白い線、全体は茶色、尾の両端は白い) 地面を歩いて、「裏側に何かないかなあ…。」地面に落ちている小さな植物の種などのエサを探しているようです。地面をじ〜っと眺めたり、チョコチョコと急に走ったり、あちに行ったり、こっちに行ったり…。必死に地面を探しているのですが、なんだか微笑ましくなってしまう。



いろいろな鳥を見て特徴を覚え、名前や鳴き声を覚えることも鳥を楽しむ一つの方法ですが、1羽の鳥をじっくりと見て、「何をしているのだろう？」とその行動に驚いたり、感心したり、同感したり、歓声を上げてみるのもバードウォッチングの一つの楽しみ方です。

身近なスズメやカラスもじっくり眺めていると、不思議と面白い行動をとっているものです。ぜひ、身近な鳥をはじめに「1羽からのバードウォッチング」を楽しんでみてはいかがでしょうか。(篠島)

陣馬自然公園センター 【相模原市藤野町佐野川659-3 TEL0426-87-5270】

◆11月:山々の木々の葉が赤・黄・オレンジ・褐色と華やかに彩られました。私たちの目を楽しませてくれる「紅葉」の見頃も今年は遅れがちかのように思われましたが、陣馬山・生藤山は例年どおり下旬頃が最高となりました。



空気の澄んだこの時期は山頂からの眺望も最高です!紅葉を楽しもうと訪れる団体や家族連れの数も多く、路線バスも臨時便が運行されました。バスから降りると登山者は準備体操をして、山々や現在地を地形模型で確認し出発して行きました。陣馬山に初めて訪れる登山者は、山頂から見る雄大な景観に感動していました。また、毎年恒例の「山岳マラソン大会」が11日に開催され、多くの参加者で賑わいました。山頂から駆け下りる参加者の勢いに登山者もビックリしたようです。

◇18日 センター周辺は霜が降り一面が真っ白となりました。地元の「和田の里体験センター」では、ふじの里クラブ主催「ふじの里山まつり」が開催されました。竹細工による昆虫等の作成や、こんにやく作り体験などが行われ大盛況となりました。

◇23日 急激に冷え込み陣馬山頂では例年より2週間早く冬の風物詩「シソ科のシモバシラ」の茎に氷の花ができました。この日訪れた登山者は「氷の花が例年より早く見られ、カメラに収めることもできた」と大感激していました。

◆12月:朝晩の急激な冷え込みもなく、日中はぼかぼか陽気の日もあります。ここ数年はサルの被害を受け、つるし柿ができませんでしたが、今年はその被害もなく、周辺の民家の軒先にたくさんのつるし柿を見ることができます。

落ち葉がいっぱい敷き詰められた登山道はフカフカサクサク状態です。サクサクとその落ち葉を踏みながらの登山は晩秋の楽しみです。センター周辺の道路脇ではせせと落ち葉を掃き集め袋に詰め込んでいます。(荒井)



宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 TEL046-288-1373】

「冬は外に出るのが億劫で…」なんて思っている人、多いのではないのでしょうか?「冬は昆虫がいないからつまらない」なんて思っているお子さんもいらっしゃるかもしれません。しかし、冬でも、そして屋内でも見られる昆虫がいます。それは、カメムシの仲間です。刺激を与えると独特のにおいを出す虫として、ご存知の方も多いと思います。

図鑑によると、陸上にすむカメムシの仲間は、日本に800から1000種以上もいるそうです。形も生態もさまざま。多くは、長いストロー状の口で植物や動物の汁を吸います。リンゴやミカンなどの果樹の汁を吸う種類は、農業害虫として問題になっていたりします。また、成虫で集団越冬するカメムシもいます。冬越しの際、日当たりの良い落ち葉の下や、暖かい屋内に入り込むことがあります。



ミカンの汁を吸うスコットカメムシ

ビジターセンターの中にもカメムシはよく入り込みます。少し観察してみることにしましょう。ちょうど手元にミカンがあったのでカメムシに見せたところ、今まで活発だったカメムシの動きがびたっと止まりました。次に、上ろうと足を上げ始めました。しかし丸いミカンを上ることは困難な様子、助け舟を出し、指でミカンの上へと移動させてみました。すると今度は、長い口をミカンに突き刺して汁を吸い始めたのです!図鑑に書いてあったことは本当でした。

寒い冬、外で野外観察できない日は、家の中を探してみてください。あなたの家にもカメムシがいるかもしれません。害虫だからと追い出す前に、じっくり観察してみてください。知らなかった真実を発見できるかもしれません。(長澤)

丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 TEL0465-78-3888】

自然教室「駐在さんと山歩き」実施しました!

11月23日、紅葉の見頃を迎えた丹沢湖で、ちょっと変わった山歩き行事を実施しました。その名も「駐在さんと山歩き」。なぜ駐在さん?と不思議に思うかもしれませんが、実はこの方、山岳救助隊の隊長さんでもあるのです!

今回はこの隊長さんと実際に山を歩き、山で起こりうるもの場合の対処法について学ぶというものでした。当日は、迷いやすいポイントや危険箇所について、現場を知る人だからこそのお話を聞くことができました。また、毎年に地図を一生懸命よみながら尾根を目指したり、ケガ人が発生した場合の対処法をみんなでシミュレーションしたり…自分の目と体でしっかりと学ぶことができました!



ここを曲がるのかしら?班毎に地図読み挑戦です。

行事後も、「山の楽しさ・怖さを改めて知ることができました。」「またお願いします!」と参加者の方がビジターセンターを訪れて声をかけてくれます。

難しい、面倒、けれども知っておいてほしいことを、これからも行事等を通じて伝えていけたらと思います。

西丹沢では、

11月21日に

檜洞丸で初雪が

降りました。登

山道では霜柱

があり、日中は霜柱がとけて滑りやすくなっている所があります。これからの冬山シーズン、アイゼンや防寒着を含めた充分な装備!暗くなる前に行動を完了するゆりのある計画!をみんなで徹底していきましょう!!(斎藤)



もしもけが人が発生したら?通報の仕方や対処の流れを確認しました。